令和5年度 旭川未来会議2030 子育て分野について

自分らしく子育てできるために、みんなでできること

議論の視点 (例)

- ・保護者が日々の生活において(制度のみならず感覚的な面でも)子育てしやすいと感じられる。
- ・保護者が自己肯定感を持って子どもと向き合い、子育ての一義的責任を果たせる。
- ・当事者(保護者や子ども)だけでなく、まちの人や企業などがそれぞれの立場で子育てにアプローチできる。
- ・多様な子育てを受け入れ、サポートする(できる)まち。

参加者

事務局

9人

令和4年度参加者(継続5人)に、 公募2人及びテーマを踏まえた 直接依頼2人を加えた9人で構 成する。

R4継続 5人

早川由理, 松澤美沙, 丸山恵理, 山田覚, 吉田育子 (子育で中の保護者、子育でに関わる活動をしている方)

直接依頼

- ・ 喜多柚月 (株式会社カワムラ。子育て支援に取り組む民間企業の社員)
- ・森本優菜(旭川医科大学看護学科。地域社会と関わる活動を行う学生)

公募

- · 菅原千聖 ・田中慶人

要件 将来、子どもを産み育てたいと考えている若者(29歳以下)

子育て分野のポイント

多様な年齢や立場からの意見

- ・将来の保護者となる若者(29歳以下)の参加
- ・企業や学校など、子育ての当事者以外の視点

未来志向かつまち全体への波及を見据えた取組の検討

新しい事業の検討・実施

- ・意見を踏まえた取組やイベント等のトライアル
- ・実効性が見込まれる意見は子ども基金による事業化を検討 効果的な会議の実現と実効的な取組の検討

会議の展開・スケジュール(案)

5月23日 10月 終了後 7月中旬 8月下旬 9月下旬 キックオフミーティング 分野別会議(2回日) 分野別会議(3回目) トライアル(4回日) 分野別会議(5回目) 全体報告会 事業化 ● 全体会議(懇親会) ・意見交換(ブレスト等) ・トライアルの検討(詳細) ・原則ゼロ予算で実施 報告内容の整理 ・各分野が一堂に会して 効果が見込ま ● 分野別会議(1回目) ・トライアルの検討(内容) ·報告方法(役割等) 市長に報告 れるもの ※実施に伴う依頼や調整は 自己紹介 事務局が行う。 ・進行役の選出(参加者互選) ・テーマ説明等

連絡・調整、資料作成、会議への参加(主体的な議論を妨げない範囲)、会議録作成、事業化に向けた検討